

令和5年度 講座実施報告書

1 概要

| | | | | | |
|-------|---|------|-----|--------|-----|
| 講座の名称 | 女性相談担当者支援研修（第2回） | | | | |
| 講座の目的 | 近年、DVやデートDV、モラルハラスメントの相談が増えています。そこで相談者への対応を学び、より相談者の気持ちをくみとり女性のエンパワーメントを支援できるように基礎的知識や技術の習得、相談の質の向上を図るため、この研修を実施します。 | | | | |
| 募集対象 | 県・市町村で女性相談に携わる行政職員、相談員等 | | | | |
| 定員人数 | 40名 | 申込人数 | 30名 | 当日参加人数 | 28名 |
| 申込方法 | ながの電子申請サービス | | | | |
| 託児 | （募集なし） | | | | |
| 回数 | 1回 | | | | |
| 開催場所 | おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ） 大会議室 | | | | |
| 日時 | 10月6日（木） 13:00～16:00 | | | | |
| 講師 | 高山 直子 さん（カウンセリング&サポートサービスNカウンセラー） | | | | |
| 開催内容 | <p>講義 「相談員が疲弊するリスクを下げる～モラルハラスメントの被害者の心理とは～」</p> <p>内容 ①相談対応ロールプレイ ②ハラスメントの構造を理解する ③モラルハラスメントとは？ ④被害者の心理と回復 ⑤モラハラ被害者対応のポイント ⑥意識化につなげるワーク</p> | | | | |
| 参加者の声 | <p>・モラハラは分かりにくいことが多いので納得できるお話でした。</p> <p>・最近ではモラハラ相談が増えてきています。研修でモラハラという言葉自体の知識を得ることが出来ただけでなく、相談者に対してどのような言葉で質問を投げかけたらよいか、多彩な言語化の方法を知ることができ、とても勉強になりました。</p> <p>・ハラスメントに関する講義は初めてでしたが、よりわかりやすいお話でした。被害者が加害者にならないように…納得しました。心がけながら向き合っていきたいと思いました。安心、安全を提供し、言語化して認知させることを実践していきます。</p> <p>・モラルハラスメントの構造をわかりやすく講義いただいて、これからの支援に活かしていきたいと思います。</p> <p>・ふだん何気なく使っている言葉や行動が相手にとっては苦痛に感じられていることがあるのではと、気づきにもなり過去の体験が思い出されたりもしました。言語化することの大切さもよくわかりました。相談者にとって「よかった」と思える相談にしたいと思います。</p> | | | | |



高山講師



会場の様子（講義）



会場の様子（グループワーク）